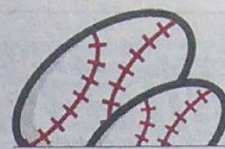


花北青雲 延長サヨナラ



第99回 夏の高校野球 岩手大会

花巻

花巻青雲は遠野にサヨナラ勝ち。延長十回、2死三塁から6番泉澤隆弥(3年)の中前適時打で

試合を決めた。一関工は四回に先制したが、直後の五回に大量5点を献上。九回にも2点を奪われ宮古に敗れた。

花巻北は盛岡一に五回コールド勝ち。四回に逆転すると、五回に打線が爆発して一挙7点をもぎ取った。

泉澤が会心の一打―花北青雲

①：土壇場で勝負強さを見せた花北青雲が、遠野との熱戦を制した。1―1で迎えた延長十回、泉澤隆弥(3年)が値千金のサヨナラ打を放ち、決着を付けた。柳谷和人監督は「夏は何が起こるか分からない。チャンスでよく打った」と殊勲の6番打者をたたえた。

花巻青雲は三回、2死一塁から2番及川龍司(3年)の右翼線適時二塁打で先制したが、六回に追い付かれ、延長戦に突入。迎えた十回、四球と犠打で2死三塁の好機をつくと打席には泉澤。「緊張で足がすくんでいたが、待っていた所

に来た」と外角低めの直球を思い切り振り抜くと、打球は中前にしっかかりと落ち試合が決まった。

「これまでの打席はチャンスで打っていないだったので、ここで打たなきゃいけないと思った。こういう接戦を勝てたのは大きい」と会心の一打を喜んだ。

指揮官は「最後の最後まで諦めず、冷静なのが良かった。次につながる良い戦い方だった」と興奮を隠さなかった。鮮やか打者一巡の猛攻―花巻北

①：雷雲の影響で3度も中断を余儀なくされ、観衆を含め試合が長時間に及ぶことを覚悟した中、鮮やかな打者一巡の猛攻で大量7得点を奪った花巻北が一気に勝負を決めた。

3点を勝ち越し迎えた

五回。3番小原大典(2年)、4番菅原大樹(3年)の連続適時打でさらに勢いをつけると、2死一、三塁から5番佐藤優樹(3年)の左中間への2点適時打で、古豪対決に終止符を打った。中断中にも「声を掛け



【遠野―花北青雲】花北青雲延長十回、2死三塁から6番泉澤が中前適時打を放ち、試合を決める＝13日、花巻球場

【盛岡一―花巻北】花巻中間適時二塁打で4番菅花巻球場

花巻球場

◇3回戦▽第1試合									
遠野	0	0	0	0	1	0	0	0	0
花北青雲	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	0	1							
	1x	2							

(延長十回)

(遠) 畑山、小嶋、菅田―三宅
(花) 工藤、佐々木、瀬川悠―渡邊
▽二塁打＝及川(花)
▽第2試合



初の夏舞台でも堂々とを浴び、「力負け。相手